

⑧ 中高 英語科問題の解答について（注意）

1. 解答はすべて、別紙のマークシートに記入すること。
2. マークシートは、電算処理するので、折り曲げたり、汚したりしないこと。また、マーク欄はもちろん、余白にも不要なことを書かないこと。
3. 記入は、HBまたはBの鉛筆を使って、ていねいに正しく行うこと。（マークシート右上の記入方法を参照）消去は、プラスチック消しゴムで念入りに行うこと。
4. 名前の記入 名前を記入すること。
5. 教科名の記入 教科名に「英語」と記入すること。
6. 受験番号の記入 受験番号欄に5けたの数で記入したのち、それをマークすること。
7. 解答の記入
 - ア. 小問の解答番号は1から42までの通し番号になっており、例えば、25番を

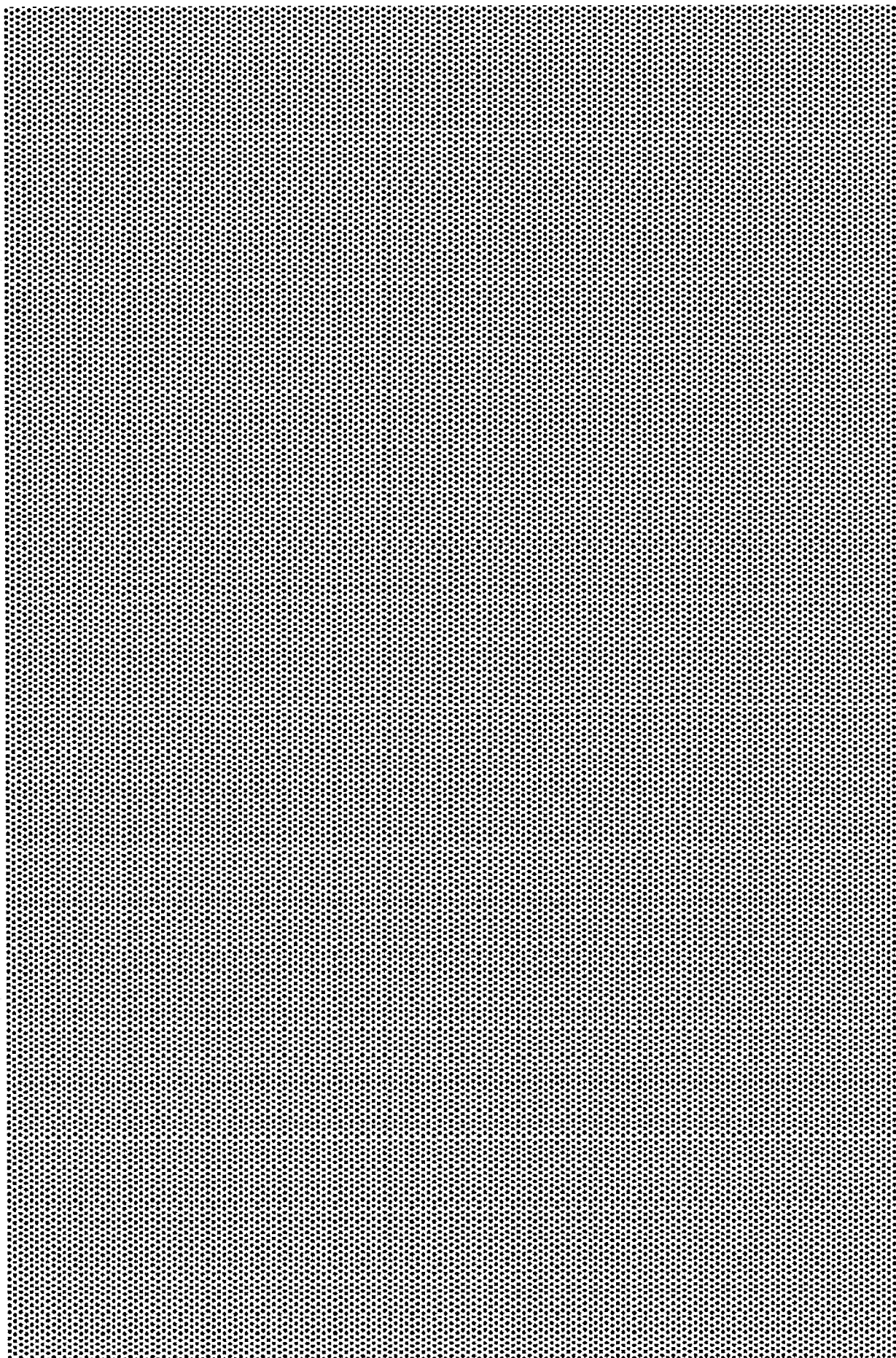
25

 のように表示してある。
 - イ. マークシートのマーク欄は、すべて1から0まで10通りあるが、各小問の選択肢は必ずしも10通りあるとは限らないので注意すること。
 - ウ. どの小問も、選択肢には①、②、③……の番号がついている。
 - エ. 各問いに対して一つずつマークすること。

（マークシート記入例）

フリガナ	コウベタロウ	教科名	英語
名前	神戸太郎		

受験番号					小問 番号	解答記入欄										小問 番号	解答記入欄										小問 番号	解答					
						1 - 25											26 - 50											51					
数字で記入……					1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	51	0	0	0	0
	/	2	3	4	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	27	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	52	0	0	0	0	
	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	53	0	0	0	0	
	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	54	0	0	0	0	
	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	55	0	0	0	0	
	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	56	0	0	0	0	
	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	32	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	57	0	0	0	0	
	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	33	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	58	0	0	0	0	
	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	34	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	59	0	0	0	0	
	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	35	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60	0	0	0	0	
	0	0	0	0	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	36	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	61	0	0	0	0	



【1】 次の問いに答えよ。

(1) 「小学校(中学校)学習指導要領(平成29年告示)解説 特別の教科 道徳編」における「第2章 道徳教育の目標」に関する記述のうち、適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。なお、文中に「児童」とあるのは、中学校・特別支援学校中等部では「生徒」に読み替えなさい。

- ① 学校における道徳教育は、自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した一人の人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことを目標とする教育活動であり、社会の変化に対応しその形成者として生きていくことができる人間を育成する上で重要な役割をもっている。
- ② 道徳科が目指すものは、学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育の目標と同様によりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことである。
- ③ 道徳科の授業では、道徳教育の目指す方向に合致する場合には、特定の価値観を児童に指導したり、指示に基づいて行動するよう指導したりすることも考えられる。
- ④ 道徳的価値とは、よりよく生きるために必要とされるものであり、人間としての在り方や生き方の礎となるものである。
- ⑤ 道徳性とは、人間としてよりよく生きようとする人格的特性であり、道徳性を構成する諸様相である道徳的判断力、道徳的心情、道徳の実践意欲と態度を養うことを求めている。

- (2) 次の文は、「小学校（中学校）学習指導要領（平成29年告示）解説 特別の教科 道徳編」における「第3章 道徳科の内容」の記述の一部である。（ア）～（エ）にあてはまる適切な語句の組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

小学校

〔規則の尊重〕

〔第1学年及び第2学年〕

約束や（ア）を守り、みんなが使う物を大切にすること。

〔第3学年及び第4学年〕

約束や社会の（ア）の意義を理解し、それらを守ること。

〔第5学年及び第6学年〕

法や（ア）の意義を理解した上で進んでそれらを守り、（イ）を大切にし、（ウ）を果たすこと。

〔公正、公平、社会正義〕

〔第1学年及び第2学年〕

自分の好き嫌いにとらわれないで接すること。

〔第3学年及び第4学年〕

誰に対しても分け隔てをせず、公正、公平な態度で接すること。

〔第5学年及び第6学年〕

誰に対しても（エ）をすることや偏見をもつことなく、公正、公平な態度で接し、正義の実現に努めること。

中学校

〔遵法精神、公德心〕

法や（ア）の意義を理解し、それらを進んで守るとともに、そのよりよい在り方について考え、（イ）を大切にし、（ウ）を果たして、規律ある安定した社会の実現に努めること。

〔公正、公平、社会正義〕

正義と公正さを重んじ、誰に対しても公平に接し、（エ）や偏見のない社会の実現に努めること。

- | | | | |
|---------|---------|------|-------|
| ① ア きまり | イ 自他の権利 | ウ 責任 | エ いじめ |
| ② ア きまり | イ 自他の権利 | ウ 義務 | エ 差別 |
| ③ ア きまり | イ 国民の権利 | ウ 責任 | エ 差別 |
| ④ ア 平和 | イ 自他の権利 | ウ 義務 | エ いじめ |
| ⑤ ア 平和 | イ 国民の権利 | ウ 責任 | エ 差別 |

- (3) 次の文は、「小学校（中学校）学習指導要領（平成29年告示）解説 特別の教科 道徳編」における「第5章 道徳科の評価」に関する記述の一部である。（ア）～（ウ）にあてはまる適切な語句の組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。なお、文中に「児童」とあるのは、中学校・特別支援学校中等部では「生徒」に読み替えなさい。

道徳性の評価の基盤には、教師と児童との人格的な触れ合いによる（ ア ）な理解が存在することが重要である。その上で、児童の成長を見守り、努力を認めたり、励ましたりすることによって、児童が自らの成長を（ イ ）、更に意欲的に取り組もうとするきっかけとなるような評価を目指すことが求められる。なお、道徳性は、極めて多様な児童の人格全体に関わるものであることから、評価に当たっては、（ ウ ）の成長の過程を重視すべきである。

- | | | | | | | |
|---|---|-----|---|-----|---|-----|
| ① | ア | 相互的 | イ | 実感し | ウ | 心身 |
| ② | ア | 共感的 | イ | 喜び | ウ | 心身 |
| ③ | ア | 相互的 | イ | 喜び | ウ | 個人内 |
| ④ | ア | 共感的 | イ | 実感し | ウ | 個人内 |
| ⑤ | ア | 共感的 | イ | 喜び | ウ | 個人内 |

【2】 次の問いに答えよ。

(1) 「中学校学習指導要領」(平成29年3月 文部科学省)の「第9節 外国語」における「第2 各言語の目標及び内容等」の「英語」の「1 目標」のうち、(3) 話すこと〔やり取り〕に関する記述として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができるようにする。
- ② 身の回りの物について、人前で実物などを見せながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すようにする。
- ③ 基本的な表現を用いて挨拶、感謝、簡単な指示をしたり、それらに応じたりするようにする。
- ④ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができるようにする。
- ⑤ サポートを受けて、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問をしたり質問に答えたりするようにする。

4

(2) 次の文は、「中学校学習指導要領」(平成29年3月 文部科学省)の「第9節 外国語」における「英語」の「2 内容」のうちの、「[知識及び技能](1) 英語の特徴やきまりに関する事項」に関する記述の一部である。次の(A)～(C)に入る語句の適切な組み合わせを①～⑤から選び、番号で答えよ。

ア 音声

次に示す事項について取り扱うこと。

(中略)

(エ) 文における基本的な (A)

(中略)

ウ 語、連語及び慣用表現

(ア) 1に示す五つの領域別の目標を達成するために必要となる、小学校で学習した語に (B) 程度の新語を加えた語

(中略)

エ 文、文構造及び文法事項

(中略)

(ウ) 文法事項

(中略)

e 動詞の時制及び相など

現在形や過去形、現在進行形、過去進行形、現在完了形、現在完了進行形、助動詞などを用いた (C)

- | | | |
|----------------|-----------------|----------|
| ① (A) イントネーション | (B) 1600～1800 語 | (C) 未来表現 |
| ② (A) アクセント | (B) 1800～2500 語 | (C) 未来形 |
| ③ (A) イントネーション | (B) 1600～1800 語 | (C) 未来形 |
| ④ (A) イントネーション | (B) 1800～2500 語 | (C) 未来表現 |
| ⑤ (A) アクセント | (B) 1600～1800 語 | (C) 未来表現 |

- (3) 次の文は、「高等学校学習指導要領解説 外国語編 英語編」(平成30年7月 文部科学省)の「第1部 外国語編」の「第2章 外国語科の各科目」における「第2節 英語コミュニケーションI」の「2 内容」のうち、「思考力、判断力、表現力等」に関する記述の一部である。次の(A)～(C)に入る語句の適切な組み合わせを①～⑤から選び、番号で答えよ。

ここでは、本科目において身に付けるべき資質・能力の柱の一つとして、「思考力、判断力、表現力等」の内容を示している。

小学校の外国語科では、音声で十分に慣れ親しんだ語彙や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちなどを伝え合う(A)を養うことが求められている。

中学校では、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養うことが求められている。

高等学校では、外国語で、情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養うことが求められている。そのために、「具体的な課題等」の解決に向けた英語を用いた言語活動の中で、「(B)適切な英語で表現すること」を通して、以下のアからウの3点を身に付けることができるよう整理した。

ア 日常的な話題や(C)話題について、英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に捉えたり、自分自身の考えをまとめたりすること。

(中略)

イ 日常的な話題や(C)話題について、英語を聞いたり読んだりして得られた情報や考えなどを活用しながら、話したり書いたりして情報や自分自身の考えなどを適切に表現すること。

(中略)

ウ 日常的な話題や(C)話題について、伝える内容を整理し、英語で話したり書いたりして、要点や意図などを明確にしながら、情報や自分自身の考えなどを伝え合うこと。

(以下略)

- | | | |
|--------------------|------------|----------|
| ① (A) コミュニケーションの素地 | (B) 論理的に | (C) 国際的な |
| ② (A) 基礎的な力 | (B) 場面に応じて | (C) 社会的な |
| ③ (A) コミュニケーションの素地 | (B) 場面に応じて | (C) 国際的な |
| ④ (A) 基礎的な力 | (B) 論理的に | (C) 社会的な |
| ⑤ (A) コミュニケーションの素地 | (B) 場面に応じて | (C) 社会的な |

【3】 Choose the most appropriate word(s) for each sentence and mark ①, ②, ③, ④, or ⑤ on the answer sheet.

(1)

著作権保護の観点から掲載いたしません。

- ① one ② the one ③ another ④ the other ⑤ it

7

(2)

著作権保護の観点から掲載いたしません。

- ① in ② on ③ to ④ for ⑤ than

8

(3)

著作権保護の観点から掲載いたしません。

- ① consider ② considers ③ considering ④ considered ⑤ to consider

9

(4)

著作権保護の観点から掲載いたしません。

- ① as ② though ③ if ④ unless ⑤ when

10

(5)

著作権保護の観点から掲載いたしません。

- ① practice ② practiced ③ was practicing ④ was practiced
⑤ have practiced

11

(6)

著作権保護の観点から掲載いたしません。

- ① by which ② on which ③ until which ④ when ⑤ where

12

- 【4】 Complete the following sentences by putting the most appropriate word(s) in each space. Then, mark the corresponding numbers for words in the blanks (a) and (b) on the answer sheet. The same word(s) cannot be used twice.

(1)

著作権保護の観点から掲載いたしません。

- ① similar ② to ③ there ④ issues
⑤ be ⑥ want ⑦ any

a	b
13	14

(2)

著作権保護の観点から掲載いたしません。

- ① be ② of ③ a nurse ④ having
⑤ been ⑥ to ⑦ proud

a	b
15	16

(3)

著作権保護の観点から掲載いたしません。

- ① the time ② had ③ I ④ left
⑤ arrived ⑥ already ⑦ by

a	b
17	18

(4)

著作権保護の観点から掲載いたしません。

- ① us ② you ③ we ④ what
⑤ are ⑥ made ⑦ has

a	b
19	20

(5)

著作権保護の観点から掲載いたしません。

- ① a study group ② that ③ improve ④ . join
⑤ to ⑥ suggested ⑦ he

a	b
21	22

【5】 Read the following webpage and answer the questions below.

**著作権保護の観点から
掲載いたしません。**

著作権保護の観点から
掲載いたしません。

(出典: <https://www.oecd.org/en/about/news/media-advisories/2024/09/education-at-a-glance-2024.html>;

Note that part of the above text has been modified to create questions.)

(1) Which of the following statements is true according to the webpage?

- ① The French Minister of National Education and Youth held the event.
- ② The official launch of Education at a Glance 2024 took place before regional press briefings.
- ③ Education at a Glance is a summary of education around the world published once a year.
- ④ Registration was required to watch the press conference.
- ⑤ Anyone who was interested in Education at a Glance 2024 could get an advance copy.

23

(2) To participate in the event, journalists ...

- ① were required to have experience in education-related work.
- ② needed to contact the OECD Media Office by telephone.
- ③ were requested to send an e-mail to embargo@oecd.org.
- ④ had to decide whether to attend online or in person.
- ⑤ had to pay the registration fee before the event started.

24

(3) Suppose that you were a journalist in the Central European Summer Time (CEST) time zone at 9:30 on September 10, 2024. You could ...

- ① listen to the advance media briefing for Japan from Nicole Belloubet.
- ② attend the advance media briefing for Korea with Andreas Schleicher.
- ③ watch the embargo press briefing for Portugal online.
- ④ obtain an advance copy of Education at a Glance 2024 by calling Mathias Cormann.
- ⑤ ask for further information by e-mailing embargo@oecd.org.

25

【6】 Read the following American article and answer the questions below.

著作権保護の観点から
掲載いたしません。

著作権保護の観点から
掲載いたしません。

(出典: <https://edition.cnn.com/2024/09/02/health/phones-allowed-school-children-wellness/index.html>
一部省略あり)

(1) Choose the best meaning of [A] reach in this context from below.

- ① to arrive at a place
- ② to agree on something or decide something after a lot of discussion or thought
- ③ to succeed in making someone understand or accept what you tell them
- ④ to succeed in speaking to someone
- ⑤ to get to a particular level or situation

26

(2) Choose the best description of [B] preoccupation.

- ① when someone thinks or worries about something a lot, with the result that they do not pay attention to other things
- ② a situation in which you need someone or something all the time in order to exist or successful
- ③ the belief that something or someone is important and should not be harmed, treated rudely
- ④ determination to do something even though it is difficult or other people oppose it
- ⑤ something you do in order to prevent something dangerous or unpleasant from happening

27

(3) What is the main point of the seventh paragraph?

- ① Frequent use of smartphones by children is a significant problem in elementary schools.
- ② Smartphone use takes away students' time not only outside of class, but also during class time.
- ③ Since smartphones have a variety of functions, they are not suitable for people who cannot multitask.
- ④ Teachers are concerned that students' excessive smartphone use is leading to problems with their communication skills.
- ⑤ Many children are using their smartphones during class and ignoring the teacher.

28

(4) What is the main point of the tenth paragraph?

- ① Children can live without smartphones if strongly encouraged by their teachers.
- ② An average of 60 phone notifications disrupts student concentration during the school hours.
- ③ Smartphone features should be restricted to help students focus on learning.
- ④ Students should stay focused on learning, even when they receive notifications on their smartphones.
- ⑤ Students are so hooked on their smartphones that it is practically impossible limit their use.

29

(5) Based on the article, which is the best to fill in the blank (C)?

- ① enables efficient learning, so even if students don't score high on tests, their overall learning abilities are still improving
- ② can cut into sleep time, leading to poorer sleep quality and making it harder to focus on schoolwork or job responsibilities
- ③ takes away children's opportunities for physical exercise, leading to a decline in their overall health and well-being
- ④ makes it difficult for people to be fully present with others when they are with others, and to sit silently with themselves when they are alone
- ⑤ allows people to communicate with family, friends, and even strangers in various ways, helping them to lead safer lives

30

【7】 Read the following article and notes and answer the questions below.

著作権保護の観点から
掲載いたしません。

**著作権保護の観点から
掲載いたしません。**

(出典, Marianne Celce-Murcia, Donna M. Brinton, and Marguerite Ann Snow. "Teaching English as a Second or Foreign Language, Forth Edition". Sherrise Roehr, 2014, pp. 587-589)

Your notes:

あ

Traditional Definition of "Native Speaker"

- Native speaker: someone who learned a language as their first or only language from childhood.
- Native speaker construct: the notion that all native speakers share one and the same language and culture.

Challenges to the Native Speaker Construct

- The native speaker construct has been challenged because...
 - it is abstract concept.
 - it is rooted in colonialism and racism rather than language competence.
 - A.

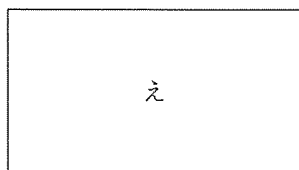
Positions on the NES/NNES Dichotomy (い) :

(1) Noninterface Position: NES and NNES are seen as distinct and homogeneous* (う) groups.

(2) Native Speaker as a Myth:

- The native speaker is considered an ideal model or goal for learners.
- B.
- Native speaker status is seen as an issue of confidence and identity, rather than the language learned as a first language.

(3) Problematic Labels:



- The native and non-native speaker labels are problematic, and should be eliminated, because...
 - These labels emphasize biological aspects rather than social factors that influence L2 learning process.

↳ e.g., お

- The labels create a divide within the language teaching profession.
- C.
- These labels often position L2 users as か, which undermines their abilities.

Criticism of the Dichotomy

- Some argue for focusing on language proficiency and professionalism rather than native/non-native labels.
- Proficiency and professionalism should be viewed as continua, not binary categories.

Alternative Perspectives

- ☐ D.
- Non-native English speaker teachers perform as double agents in the classroom. ☐ き

(1) Choose the most appropriate title for ☐ あ in your notes.

- ① How linguistic deficit leads to inferiority complex.
- ② The Role and Characteristics of Ideal Language Teacher
- ③ How to Teach English to Native Speakers
- ④ The Superiority of Native Speakers as Language Teachers: Beyond the Nateness
- ⑤ The issues with using the label native and non-native speaker.

31

(2)~(5) Choose the best option for the blanks ☐ A ~ ☐ D in your notes. Do not use the same option more than once.

- ① Non-native English speaker teachers face a "linguistic deficit," which affects their confidence and teaching strategies
- ② In multilingual and multicultural environments, these labels are considered irrelevant
- ③ It is possible for language learners to achieve native speaker proficiency in the target language, although it may be challenging
- ④ It falsely implies linguistic unity and suggests native speakers only speak a standard variety

A	B	C	D
32	33	34	35

(6) Choose the best supplementary explanation for "dichotomy" in your notes. ☐ い

- ① a difference between two completely opposite ideas or things
- ② the opinion that people in general have about someone or something based on past behavior or character
- ③ opinions or judgements about the good or bad qualities of something or someone
- ④ a situation in which it is very difficult to decide what to do, because the all the choices seem equally good or bad
- ⑤ the state of combining two different things

36

(7) Choose the best supplementary explanation for “homogeneous” in your notes. う

- ① including many different types of people or things
- ② showing an unreasonable like or dislike for someone or something based on personal opinions
- ③ trying very hard to be more successful than other people or businesses
- ④ consisting of people or things that are all of the same type
- ⑤ including people from all backgrounds and ensuring equal opportunities for participation and contribution

37

(8) Choose the best option for え in your notes.

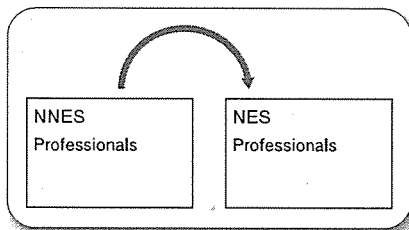
①

NNES professionals $\neq$ NES professionals

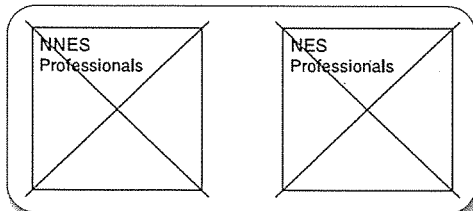
②

NNES professionals $=$ NES professionals

③



④



38

(9) Choose the inappropriate option for お in your notes.

- ① how often the learner uses the L1 and L2 languages in their daily life
- ② since when the learner has been exposed to their mother tongue
- ③ how hard they have worked to study their L2 language
- ④ which language the learner decides to study in schools
- ⑤ in what kind of community the learner uses the L2 language

39

(10) Choose the best option for **か** in your notes.

- ① intercultural speakers
- ② the non-native speaker construct
- ③ failed native speakers
- ④ multi-component language users
- ⑤ the native speaker fallacy

40

(11) Based on the article, choose the best option from the figure 4 that describes the following teachers' situation.

The label **nonnative English-speaking teacher** is particularly problematic for novice ESL/EFL teachers who are visible minorities — those who do not resemble the stereotypical blond, blue-eyed American. In fact, it is not uncommon to find second-generation native speakers of English whose nativeness is challenged because they do not look like the idealized native speaker.

- ① Quadrants 1 and 2
- ② Quadrants 2 and 4
- ③ Quadrants 3 and 4
- ④ Quadrants 1 and 3
- ⑤ Quadrants 1 and 4

41

(12) Choose the best option for **き** in your notes.

- ① Even though the teachers are not a native speaker of English, they can promote English use because English is the only common language between them and the students.
- ② Non-native speaker teachers use the L1 to compensate for the fact that they may not be as effective as native speakers in teaching.
- ③ The teachers understand both the strengths and weaknesses of each student and play a role in adjusting to ensure all students succeed in L2 learning in the classroom.
- ④ Since the teachers and students share the same L1, they can communicate what students don't understand in L2 learning, allowing the teachers to provide more comprehensive support.
- ⑤ Non-native speaker teachers should use the L1 only for grammar explanations in order to ensure opportunities for L2 communication.

42

中高英語

正答・配点一覧表

問番号	解答番号	正答	配点
【1】	(1) 1	③	2
	(2) 2	②	2
	(3) 3	④	2
【2】	(1) 4	④	2
	(2) 5	①	2
	(3) 6	④	2
【3】	(1) 7	①	3
	(2) 8	③	3
	(3) 9	④	3
	(4) 10	④	3
	(5) 11	②	3
	(6) 12	③	3
【4】	(1) 13・14	a : ③ b : ⑦	4 (完全解答)
	(2) 15・16	a : ① b : ④	4 (完全解答)
	(3) 17・18	a : ② b : ①	4 (完全解答)
	(4) 19・20	a : ⑦ b : ④	4 (完全解答)
	(5) 21・22	a : ② b : ①	4 (完全解答)
【5】	(1) 23	③	3
	(2) 24	④	3
	(3) 25	③	3
【6】	(1) 26	④	3
	(2) 27	①	3
	(3) 28	②	4
	(4) 29	⑤	4
	(5) 30	④	4
【7】	(1) 31	⑤	3
	(2) 32	④	3
	(3) 33	③	3
	(4) 34	②	3
	(5) 35	①	3

(6)	36	①	4
(7)	37	④	4
(8)	38	④	4
(9)	39	②	4
(10)	40	③	4
(11)	41	④	4
(12)	42	④	4